

水道部へ9の公開質問状提出



会見を開いた宮古島地下水研究会（左、Tansaの渡辺編集長）
=2月29日、富名腰コミュニティーセンター

宮古島の地下水および水道水の複合汚染について、警鐘を鳴らし続けていた宮古島地下水研究会（共同代表＝友利直樹、前里和洋、新城竜一）は2月29日、午後2時に兼島方昭市水道部長宛てに9項目の公開質問状を提出したことを同日の会見で明らかにした。公開質問状のほか、この日までに集まった島内外からの署名654人筆を添えて提出された。

宮古島の地下水および水道水の複合汚染について、鋸を鳴らし続いている宮古島地下水研究会（共同代表＝友利直樹、前里和洋、新城竜一）は2月29日の午後2時に兼島方昭市水道部長宛てに9項目の公開質問状を提出したことを同日の会見で明らかにした。公開質問状のほか、この日までに集まつた島内外からの署名654筆も添えて提出された。

および
浄水場へ高機能活性炭素
などの
処理設備を設置すること
を
これま
市内各
農薬複合汚染対策を求める
きたが、市の対応は「検
濃度は水質基準値より遙
に数倍、二〇〇〇年が用い

農薬複合汚染対策を求める
処理設備を設置する」と
きたが、市の対応は「検
濃度は水質基準値より汚
染度であり汚染が月々

などの説明はなく、安全性を担保するために今後も継続的な調査を行う」としてきた。

認識が改まつたことなど、くつかの要因はあるが、古の増え方は尋常ではない」とし、「認識が改まつたときに発達障がい児数は急増に増え、その後ゆるやかに数値になっている。一方で宮古は毎年右肩上がり」と独自の調査報告をした。

「同研究会で行った高感度測定法を用いた水質調査は、1月11日に市水道局

昌公保健医の活性炭净化は宮古市は財政公債でも議会も市は必要で設を求めらる理由は約2週間に是出した

言える理由は、系数を換算されても安価で済むからだ。高機能化処理設備について、島市から要請があつたので、『支援を行う』と県と市とで合意しているのに、合意していないと判断し、増設しないことへの明確な項目はついていない。この回答期限を設けている。

地下水研究会

「国の基準値以下」に疑問

高機能活性炭 浄水処理設備 必要性拒む理由など

告宿
44
度測定法からの結果が記されている。安全性を担保する割にその結果は公正ではない」と主張する。

10年で約2倍、県では8倍
增加しており、宮古では44
倍と増加していること、
この地下水および水道水の
農薬複合汚染との因果関係
は決して浅くはないと提言
している。

友利共同代表は「この10
年間の増加は、県ではその
数値は500分の1の低感
度測定法からの結果が記さ
れている。安全性を担保す
る割にその結果は公正では
ない」と主張する。

兼島部長へ公開質問は△
による公表の是正▽国基
準値以下なので農薬成分が
測定されないとしている

古の増え方は尋常ではない」と、「認識が改まつたあとに発達障がい児数は急激に増え、その後ゆるやかな増値になっている。一方で、高舌は毎年右肩上がり」と独自の調査報告をした。

「同研究会で行った高感度測定法を用いた水質調査に、1月11日に市水道部

心安全と言える理由／収納心は宮古島市から要請がある。公保健医療部長は「高機能活性炭净化処理設備については宮古島市から要請を行ふ」と県議会でも答弁しているのに市は必要ないと判断し、増設を求めないことへの明確な理由——など項目は9つ。約2週間の回答期限を設け、提出して貰う。